

団体名 (一社)日本ツバキ協会大船渡支部

事業名 「椿の里、次の百年への展望」フォーラム事業

〈事業概要〉 椿の里の現状を把握し、椿サミットに向けたこれまでの取り組みや成果を確認し、今後の椿を用いたまちづくりに活かすとともに、次の百年への「一里塚」とする。

(1)バスによる市内現状視察 (2)椿に関する講演会 (3)椿関係各種展示及び独楽廻し大会をメインとして実施した。

(1)バスによる市内現状視察

日時:令和4年11月13日(日)、16名参加、今回は、日程の関係から、末崎町内の古木や名所椿の視察を実施した。



(2)椿の里・秋のフェスティバル 会場:世界の椿館・基石

(椿に関する講演会・椿関係各種展示・独楽廻し大会は「椿の里・秋のフェスティバル」として 一体的に開催した。)

① 椿に関する講演会 日時:令和4年11月13日(日)午前10時~12時

★演題:「大船渡の三面椿と椿の海外事情」

★講師:柄戸 正 氏(一社)日本ツバキ協会理事、国際ツバキ協会理事、作家



柄戸氏の講演会



② 椿関係各種展示「椿の歴史と文化展」

日時:令和4年11月11日(日)~17日(木)



ヤブツバキの灰を  
↓ 釉薬に使った焼物 ↑



椿の花びら染め



## ② 椿関係各種展示「椿の歴史と文化展」

日時: 令和4年11月11日(日)~17日(木)



椿花図譜の展示

↑ 椿花図譜の表紙拡大  
↓ 展示状況



大船渡の椿材で作った木工製品→  
↓



↓ 椿油の古い搾油機の一つ



↑ ツバキの花びらで染めた作品



### ③ 独楽廻し交流大会

(神奈川県藤沢市の片瀬こま保存会より3名来大。末崎小学校3年、同保護者32名参加。)



独楽廻しに興ずる子供たち





## 実施効果

1. 「椿の里、新発見ツアー」では、内の主要古木・椿園等を視察、現状認識を深めた。参加者の関心の高さが感じられた。
2. 講演会では、講師 柄戸正氏の国際的知見とともに、本年東京で開催される国際ツバキ大会の紹介のほか、当地における椿園整備等に関して大きな示唆を与えていただいた。
3. 展示においては、「椿の歴史と文化展」として、これまで当地では展示公開されていなかった「椿花図譜」をはじめ資料等や、新しい作品展示物を含めて、総合的な展示になったと自負している。
  - ・「椿花図譜」は皇室に保管されていた貴重な図譜のレプリカであり、当地方ではもちろん、全国的にもなかなか目にするすることができない資料である。
  - ・三面椿に関する樹齢鑑定時の経緯等や年表を一連の展示。
  - ・椿油の搾油機の歴史について実物展示
  - ・ツバキ材を使用した木工製品の展示は、その適用性や多様性を示した。
  - ・陶器製品については、椿灰を釉薬として使用した陶芸品を展示。このように、多様な展示等を行うことができたのは、関係団体・個人のご協力、連携のもとに行ったからなのですが、今後さらに工夫することにより新しい可能性を包含していると考えられる。

## 今後の展開

本事業は、昨年のサミットに向けて取り組まれ、積み上げてきた「成果」や現状を確認、把握し、「椿の里」として今後、椿資源と椿に関する産業の持続的な発展に資するとともに、今後のビジョンに活かそうとしたものである。これらの木工品や陶芸品の展示は、今後明るい展望の持てるものであり、さらなる展開と製品の研究・開発が期待される。

**今後の課題と展開の視点**として次の事項をあげておきます。

- ① 椿に関するまちづくりのビジョン策定の検討
  - ・今回の事業による「共通認識」と一定のまとめを基礎に市内椿資源の「マップ化」及び「市内のツバキ見どころガイド」作成検討。
  - ・「ビジョン」は当協会一存でできるものではないが、市の基本的な計画のもとにツバキ部門の「アクションプラン」の検討。
  - ・椿園等の整備に関する検討。
- ② 既存のツバキ、古木の保護管理等に資する取り組み。
  - ・「三面椿」の環境整備、後継樹対策に関すること(市教育委員会や持ち主との調整が必要であるが)
  - ・椿の実拾いに関し、持ち主と拾う人(例えば小学生など)とのコーディネートはできないか。
- ③ 長期的視点での椿の育成増大、将来のツバキ林造成の検討
  - ・植栽樹の育成管理等、実取り椿、苗木生産、新品種開発。
  - ・将来ツバキ材供給が可能となるツバキ林造成候補地の探索。
- ④ 椿関連の各種団体、関係個人からの意見・アイデアの徴取と連携。

### 資金について

本事業は、事業名の通り、椿に関する現状と展望を考えるものであり、1年、2年の取り組みで「資金を得る」というような性格の事業ではありませんが、次年度以降については種々の対応を検討し、椿材の活用による商品化等のほか、関係団体や行政とも連携を図り進めたいと考えます。

## 市民の皆さんへ

今回の事業では、光風舎様、艸雲窯様、大船渡花の会様、世界の椿館・碁石様ほか たくさんの団体・個人のご協力をいただきました。今後とも市民の皆様と連携、協力のもと椿の育成管理等を通じて、椿資源と椿産業の持続可能な進展に資する取り組みを進めてまいります。よろしくお願いたします。